

2017-2018 ガバナー月信

GOVERNOR'S 10 Monthly Letter

函館最初物語



【旧開拓使函館市庁煉瓦造書庫（元町公園内に建物有）】

明治10年代の建物。煉瓦造2階建て、かわらぶき建築物。外壁は当時上磯町（現北斗市）茂辺地にあった開拓使直轄の煉瓦製作所のものを使用。至るところに明治7年、8年、9年函館製と言った刻印が見える。昭和54年（1979年）11月函館市有形文化財に指定。



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」



**国際ロータリー第2510地区
 2017-2018年度地区目標**

1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと
 しています。

2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。
 地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。
 ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●地域に根差したクラブを求めて続けて..... 13
●10月米山月間にむけて..... 2	●ガバナー公式訪問報告..... 14
●「120万本の植樹事業」ロータリーの森記念植樹 報告..... 3	●新会員のご紹介/訃報..... 19
●2018年トロント国際大会のご案内..... 4	●ハイライトよねやま..... 20
●インターアクト研修旅行 報告..... 5	●ガバナーノミネー候補者推薦のお願い..... 20
●第6回全国インターアクト研究会・ 第4回全国インターアクト委員長会議出席報告..... 6	●ロータリーコーディネーターNEWS..... 21
●一業一会員制と親睦の関係..... 7	●米山奨学生のご紹介..... 22
●新入会員研修会について..... 8	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付..... 22
●函館東RC60周年記念祝典報告書..... 9	●地区カレンダー10月・11月..... 23
	●出席率・会員数..... 24
	●文庫通信..... 25



9月のクラブ訪問並び活動報告

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **國 立 金 助**

(函館RC)

クラブ公式訪問は、9月28日、滝川・岩見沢ロータリークラブを訪問、「55」のクラブ訪問が終わりました。

今月は、9月3日に函館を出発して、9月29日までの間、函館（自宅）へ帰れたのは、3日間だけで、札幌プリンスホテルの1泊を初めホテル住まいでした。そして、車で走った距離も約9,000km以上となりました。今回は比較的大きなクラブ訪問となり、クラブ間の格差を実感させて戴いております。

7月現在、第2510地区のクラブ数は69クラブ。

会員数10名以下のクラブが5クラブ

11名～20名のクラブが14クラブ

21名～30名のクラブが15クラブ

69クラブ中、会員数30名以下のクラブが34クラブあり、約半数(50%)となります。

51名以上のクラブが15クラブあり、全体の21.7%です

そして、財政的・人的にも余裕が出る会員数45名以上のクラブは、69クラブ中19クラブで27.5%です。

しかし、会員数の少ない地方のクラブ程、地域に密着した奉仕活動を会員全員で一生懸命地域の為に努力しております。現実の世の中の動き、人口減と、それに伴う企業の撤退等々の大きな壁のもと、真剣に地域の為に活動している姿を見させて戴き、第2510地区内でもクラブ間の格差が広がっている現状を見て、地域の役割として、よりきめ細かい支援体制が必要であると思いつつ、クラブ訪問を続けております。

そして、9月9日、120万本の植樹の内、地区が企画した1,500本の植樹を実施、晴天に恵まれ、大成功の内に終了致しました。

イアン・ライズリー国際ロータリー会長は「環境の悪化と世界的な気候変動は、全人類への脅威である」と全世界のロータリアン120万人に120万本の植樹を2018年4月22日のアースデーまでに行うよう呼びかけました。当第2510地区でも、3月の会長エレクト研修セミナーで皆様のご意見等を戴き、さらに69クラブに対するアンケートの結果をふまえ、地区社会奉仕委員会、奉仕プロジェクト委員会を中心に検討を重ねた

結果、下記の方法で、2,630本の植樹をする事になりました。

①すでに植樹している30クラブは独自で実施(500～600本)

②海外植樹として、タイ・ノンカイにて2018年1～2月実施(600本)

③地区としては、34クラブの協力のもと当別道民の森で実施(1,500本)

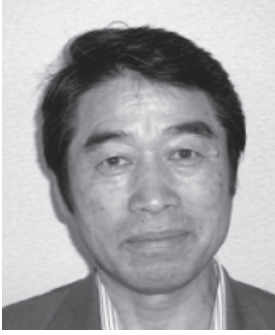
9月9日(土)、当別ロータリークラブ協力のもと、「道民の森」神居尻地区にて1,500本の植樹実施、当日は、並行プログラムとして、地区青少年奉仕委員会主導にて、午前10時より「道民の森わくわく体験プログラム」を、インターアクト、ローターアクト、交換留学生等々70～80名参加して実施しました。終了後13:30(14:00)ロータリアンと合流して一緒に植樹。

植樹には、34のクラブ、ロータリアン・家族・青少年、280名の参加を戴き、すばらしい天気にも恵まれ、大成功で終了致しました。参加・協力頂いたロータリアンの皆様へ心よりお礼申し上げます。

そして9月17・18日一泊二日で、函館地区大会へRI会長代理として来て戴く台湾のKega C.J.Yao様と打合せの為、エイド役の嵯峨義輝PG・地区代表幹事と私3名で打合せの為、台北へ行って来ました。

また9月23・24日には、一泊二日の日程、ロータリー韓日親善会議がソウルで開催(毎年実施)され、本年度も日本から400人の目標で当地区にも出席要請が来ましたので、今回は、安孫子建雄PGご夫妻を始め、地区代表幹事、地区幹事と私の7名で参加して来ました。民間外交の大切さを感じました。

いよいよ10月14・15日の地区大会です。皆様のご来函を心よりお待ちしております。



10月米山月間にむけて

地区米山記念奨学・学友委員会

委員長 **大石 清司**
(新札幌RC)

本年は、世界に誇る米山奨学事業の継続と発展の節目となる米山記念奨学会の財団設立50周年にあたります。米山奨学事業は、今や国際奨学事業としては国内最大の規模になりました。これまで支援した学生は2万人にも及びます。

去年はソウルでの国際ロータリー年次大会で米山史上初の「分科会」が開催されました。その模様が米山本部作成のDVD（世界に羽ばたくyoneyama）で紹介されております。その冒頭に短時間ではありますが、2510地区からの参加者が映っております。ぜひ機会ありましたらご覧ください。これもロータリアンの皆様の事業への深い理解と支援の賜物でないかと思っております。

また10月は卓話月間という事で2017学年度の奨学生を4月に迎え、奨学生の皆さんもロータリーに少々慣れた時期という事でこの月に限らないわけですが、世話クラブ以外での卓話を中心に旺盛に行う月でもあります。第2510地区には69クラブあり、奨学生は16名です。貴重な寄付をいただいているロータリアンの皆様と触れ合う貴重な機会と致したいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

卓話には、奨学生だけでなく学友の皆様にも協力をお願いしております。その際できるだけ米山奨学委員も同行するつもりです。

卓話月間に向けても含めて、去る9月3日

に第2グループの皆様との交流を含め米山奨学生の研修旅行を開催させていただきました。

今回の研修旅行は、多額の寄付をいただきながらも遠隔地という事情もあり、奨学生の受け入れの機会のないクラブとの交流の機会ともいたしました。第2グループのご提案を受け、北海道のエネルギー事情と伝統産業・産業転換の一例を奨学生に知って頂き、日本理解の一助としてもらおうとの企画でした。北海道電力の砂川発電所の見学、松尾ジンギスカン滝川本店での昼食交流会、ソメスサドルさんの見学と小銭入れ製作体験と、参加者からは大変有意義な研修旅行との声をいただきました。第2グループの佐藤ガバナー補佐はじめ、関係者の皆様の絶大なご支援有難うございます。

この研修旅行に合わせてタイトな日程でありましたが、カウンセラー研修と卓話月間に向けての奨学生向けの卓話研修も開催いたしました。

最後に、財団設立50周年を記念したDVDが9月下旬に全クラブに発送されます。日本のロータリーの礎を築き、事業にその名を冠する米山梅吉翁の生い立ちや功績、米山翁の没後、東京RCがその遺徳を記念して創設した当事業の発展、その成果である学友たちの活躍をご紹介します。ぜひ例会などでご活用ください。





「120万本の植樹事業」 ロータリーの森記念植樹 報告

地区社会奉仕委員長

植樹祭実行委員長 高山 和宏

(札幌東RC)

地球環境の持続可能性が懸念される今、イアン H. S. ライズリー国際ロータリー会長は、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。国立ガバナーは、そのメッセージを受け、第2510地区会員数と同じ2,600本の植樹を行うことを地区の目標として掲げ、その具体的な植樹プランとして、①クラブ独自で植樹を行う②地区を窓口として、当別町の道民の森(地区青少年奉仕委員会と連動)と、タイ北東部(地区国際奉仕・VTT委員会と連動)で植樹を行うこととしました。

地区窓口で行う植樹事業の第一弾として、9月9日(土)当別町道民の森・神居尻地区水源の森づくりエリアで、植樹祭を行いましたので、ご報告いたします。

今回、植樹を実施した水源の森づくりは、北海道石狩振興局森林室が窓口となり、長期間にわたって牧草地として利用されていた土地を、道民の参加協力により、水源地域としての森林機能を回復させるとともに、環境教育の実践の場として活用することを目的にしており、その趣旨に賛同し、この場所で植樹祭を開くこととしました。

当日の天気は雨の予報で心配しましたが、強い願いが届いたのか、朝早い段階で雨はあがり、晴天のなか、35のクラブが参加し、会員とその家族約220名に、並行プログラムとして実施された青少年セミナーの参加者約70名を加え、300名近くが参加する盛大なイベントとなりました。

開会式では、国立ガバナーとホストクラブの当別RC泉亭会長の挨拶の後、道民の森ボランティア

ア協会の高橋幸男さん、鵜飼義和さん、三好英勝さんの3人に植樹方法や注意点を指導いただき、参加者を代表して、国立ガバナー、泉亭会長、山本第3グループガバナー補佐と、ローターアクト山下さん(赤平RAC)、小野寺さん(赤平RAC)の5名による記念植樹を行いました。

続いて、国立ガバナー、泉亭会長、山本ガバナー補佐と、インターアクト神田さん(岩見沢緑陵高校IAC)、石月さん(岩見沢緑陵高校IAC)の5名により、現地に設置した記念プレートの除幕式(森の名称を「ロータリーの森」としました)を行って、開会式は終了し、いよいよ植樹がスタートです。約0.75haの広大な傾斜地に、参加者が手分けして、アカエゾマツ500本、ハンノキ500本、ヤチダモ500本の合計1,500本の苗木を植樹しましたが、約15分あっという間に植樹は終了しました。

ここで忘れてはならないのが、植え付けをして植樹事業は終わりではなく、植樹した苗木が順調に育つように、下草刈りなどの保育を行うことです。今回は、造園業者の方々にも保育をお願いすることとしましたが、ぜひ、各クラブでこの「ロータリーの森」がこの先のように育っていくか、忘れずに見守っていただけたら、幸いです。

最後になりますが、植樹祭のホストクラブを務めていただいた当別RCをはじめ、各クラブの有志の方々に多大なるご協力をいただき、無事植樹祭を終えることができましたこと、感謝申し上げます。





2018年トロント国際大会のご案内 (第一報)

地区RI国際大会推進委員会 委員長 嵯峨 義輝
(岩見沢RC・PG)

第2510地区ロータリアンの皆様、2018年の国際大会は、カナダ・トロントの地にて、2018年6月23日～27日の5日間開催されます。

当地区RI国際大会推進委員会は、国際大会に参加しやすいようにA～D迄の多様な4コースをご用意いたしました。

- 【Aコース】トロント世界大会に出席後、アメリカ最大のIRラスベガスをお楽しみいただけます。
 【Bコース】Aコースより1泊多くお泊りいただき、航空機はビジネスクラス利用のゆったりコースです。(限定12席)
 【Cコース】ナイアガラ・トロント・シカゴを中心に観光。お帰りの日を早めての日程にもご対応が可能です。
 【Dコース】トロント中心にて企画、飛行機はトロント直行便利用。

各社、それぞれの特色を活かしたコースを作成しております。是非、ご家族お誘い合わせの上、世界中のロータリアンと知り合い、新たな出会いをつくる機会としていただくため、ご案内申し上げます。

※ご旅行詳細(ご旅行費用、確定ホテル、登録方法)のご案内につきましては、ガバナー月信11月号又は12号にてご案内いたします。

Aコース 世界大会参加とラスベガスの旅7日間

日次	月日	地名	現地時刻	交通機関	日 程	宿泊地	朝食	昼食	夕食
1	6月23日 (土曜日)	新千歳空港発	13:00	航空機	※国内線にて羽田へ リムジンバスにて成田空港へ	機中泊	×	×	機内
		羽田空港着 成田空港発	14:35 18:20	JL018	※出国手続き後バンクーバーへ				
日付変更線通過 (機中泊)									
1	6月23日 (土曜日)	バンクーバー着 バンクーバー発	11:25 13:15	JL5806	※飛行機を乗り継ぎトロントへ	トロント	機内	機内	機内
		トロント着	20:44	専用車	着後:ホテルへ (トロント泊) ダブルツリー・バイヒルトントロント ダウンタウン予定)				
2	6月24日 (日曜日)	トロント	終日	専用車	※ 世界大会参加 (午前又は午後) ※ 世界大会参加後、トロント市内視察 ※ 夜は北海道ナイト参加 (トロント泊) ダブルツリー・バイヒルトントロント ダウンタウン予定)	トロント	ホテル	×	×
3	6月25日 (月曜日)	トロント ナイアガラ	午前 夕方	専用車	※朝食後:トロント市内視察 <CNタワー・州議事堂・カサロマ城等> ※その後ナイアガラへ移動(夕食は途中レストランにて) (ナイアガラ泊) マリオット・オン・ザ・フォールズ 滝の見える部屋予定)	ナイアガラ	ホテル	レストラン	レストラン
4	6月26日 (火曜日)	トロント空港発	午前 20:50頃	専用車 航空機	※終日ナイアガラの滝視察(クルーズ)※昼食は滝の見えるレストラン ※トロントを後に、ラスベガスへ移動<市内レストランにて夕食>	ラスベガス	ホテル	レストラン	レストラン
		ラスベガス空港着	22:34頃	専用車	※着後:ホテルへ (ラスベガス泊) トレンジャー・アイランド ホテル予定)				
5	6月27日 (水)	ラスベガス滞在	終日		※終日自由行動 ※各種オプションツアーでお楽しみください (ラスベガス泊) トレンジャー・アイランド ホテル予定)	ラスベガス	ホテル	自由食	自由食
6	6月28日 (木)	ラスベガス発 ロサンゼルス着 ロサンゼルス発	8:50頃 10:10頃 13:20	航空機	※国内線にてロサンゼルスへ ※ロサンゼルスにて乗り継ぎ成田へ	機中泊	ホテル	機内	機内
				JL061	日付変更線通過 機中泊				
7	6月29日 (金)	成田着 成田発	16:55 18:55	JL3049	※ 入国手続き後、国内線にて新千歳へ	機内	機内	×	×
		新千歳着	20:40		※ 着後、無事解散				

この日程は2017年9月31日現在のスケジュールです。運輸機関のスケジュール変更により時間変更等の可能性がございます。

Bコース ゆったりビジネスクラス利用(限定12席)世界大会参加とラスベガスの旅8日間

日次	月日	地名	現地時刻	交通機関	日 程	宿泊地	朝食	昼食	夕食
1	6月22日 (金曜日)	新千歳空港発 成田空港着 成田空港発	7:55 9:25 11:10	JL3040 JL0010	※国内線にて成田へ ※出国手続き後、シカゴへ 日付変更線通過 (機中泊)	機中泊	×	×	機内
1	6月22日 (金曜日)	シカゴ着	9:05	専用車	※着後 シカゴ市内観光へ (シカゴ美術館・ミレニアムパーク・クラウド・ゲート・ロビー邸・ロータリー本部 等) 昼食 市内レストラン 夕食 市内レストラン (シカゴ泊) シカゴヒルトン予定)	シカゴ	機内	レストラン	レストラン
2	6月23日 (土曜日)	シカゴ発 トロント着	11:55 14:32	航空機	※専用車にて空港へ 着後、ホテルへ (トロント泊) ダブルツリー・バイヒルトントロント ダウンタウン予定)	トロント	ホテル	機内	レストラン
3	6月24日 (日曜日)	トロント	終日	専用車	※ 世界大会参加 (午前又は午後) ※ 世界大会参加後、トロント市内視察 ※ 夜は北海道ナイト参加 (トロント泊) ダブルツリー・バイヒルトントロント ダウンタウン予定)	トロント	ホテル	×	×
4	6月25日 (月曜日)	トロント ナイアガラ	午前 夕方	専用車	※朝食後:トロント市内視察 (CNタワー・州議事堂・カサロマ城等) ※その後ナイアガラへ移動(夕食は途中レストランにて) (ナイアガラ泊) マリオット・オン・ザ・フォールズ 滝の見える部屋予定)	ナイアガラ	ホテル	レストラン	レストラン
5	6月26日 (火曜日)	トロント空港発 ラスベガス空港着	午前 20:50頃 22:34頃	専用車 航空機 専用車	※終日ナイアガラの滝視察(クルーズ)※昼食は滝の見えるレストラン) ※トロントを後に、ラスベガスへ移動く市内レストランにて夕食) ※着後:ホテルへ (ラスベガス泊) トレンジャー・アイスランド ホテル予定)	ラスベガス	ホテル	レストラン	レストラン
6	6月27日 (水曜日)	ラスベガス滞在	終日		※終日自由行動 ※各種オプションツアーでお楽しみください (ラスベガス泊) トレンジャー・アイスランド ホテル予定)	ラスベガス	ホテル	自由食	自由食
7	6月28日 (木曜日)	ラスベガス発 ロサンゼルス着 ロサンゼルス発	8:50頃 10:10頃 13:20	航空機 JL061	※国内線にてロサンゼルスへ ※ロサンゼルスにて乗り継ぎ成田へ 日付変更線通過 (機中泊)	機中泊	ホテル	機内	機内
8	6月29日 (金曜日)	成田着 成田発 新千歳着	16:55 18:55 20:40	JL3049	※ 入港手続き後、国内線にて新千歳へ ※ 着後、無事解散	機内	機内	×	

この日程は2017年9月20日現在のスケジュールです。運輸機関のスケジュール変更により時間変更等の可能性がございます。

Aコース、Bコースのお問い合わせは
旅行企画 日本旅行北海道
札幌支店

取次旅行会社 ㈱ハロートラベル・アイ 住所 岩見沢市4条西2丁目3番
電話 0126-24-8622(澤田・佐野) 携帯電話 090-9088-8003(澤田) 迄



C. コース ナイアガラ・トロント・シカゴ 8日間

	日付		発着地		時間	交通機関	旅行行程	朝	昼	夕
1	6月22日	金	千歳空港	発	13:30	ANA2154	全日空にて成田空港へ	-	-	機内食
			成田空港	着	15:15					
			成田空港	発	17:10	ANA012	全日空にてシカゴ空港へ			
---日付変更線通過---										
			シカゴ	着	14:55					
			シカゴ	発	17:30	UA843	ユナイテッド航空にてトロントへ	-	-	機内食
			トロント	着	20:15	専用車	到着後、ナイアガラへ			
			ホテル	着	22:30		マリオット・ナイアガラ・フォールズホテル フォールズビュー&スパ予定(ナイアガラ泊)			
2	6月23日	土	ナイアガラ	発	15:00	専用車	[終日] ナイアガラフォール、遊覧船、 見学後、トロント市内へ	○	○	○
			トロント	着	16:30		[夕方]大会登録 ダブルツリー・バイヒルトトロント ダウンタウン予定 (トロント泊)			
3	6月24日	日					[終日]国際大会 開会本会議1回目 10:30~12:30 開会本会議2回目 15:30~17:30 ダブルツリー・バイヒルトトロント ダウンタウン予定 (トロント泊)	○	-	OP
4	6月25日	月					[終日]国際大会 [OP]トロント市内 見学 ダブルツリー・バイヒルトトロント ダウンタウン予定 (トロント泊)	○	-	OP
5	6月26日	火	ホテル	発	朝	専用車	ホテルより空港へ			
			トロント	発	10:30	UA211	ユナイテッド航空にてシカゴ空港へ	○	○	OP
			シカゴ	着	11:30	専用車	シカゴ市内見学			
			ホテル	着	17:00		ザ・ドレイク・ホテル予定 (シカゴ泊)			
6	6月27日	水					[OP]シカゴ市内・郊外見学 ザ・ドレイク・ホテル予定 (シカゴ泊)	○	OP	OP
7	6月28日	木	ホテル		朝	専用車	ホテルより空港へ	○	-	機内食
			シカゴ	発	11:50	ANA011	全日空にて成田空港へ			
							機内泊			
---日付変更線通過---										
8	6月29日	金	成田空港	着	14:50			-	-	機内食
			成田空港	発	17:55	ANA2155	全日空にて千歳空港へ			
			千歳空港	着	19:45					

※ 上記は2017年9月20日の予定であり航空会社、利用施設の都合により変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※ 記号OP:オプションです。オプションにつきましては、観光、お食事などご希望により賜ります。

※ お帰りの日にちを早めて、4泊6日、5泊7日の日程をご希望の方はご相談ください。

この旅行のお問い合わせ

旅行企画 (株)産経海外旅行 住所 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモビル4階

電話 011-271-5388 担当 斉藤・矢田目

D. コース 世界大会参加 トロント(直行便利用) 6日間

日付	発着地		時間	交通機関	旅行行程	朝	昼	夕			
	発	着									
1	6月22日	金	千歳空港	発	12:30	ANA 62	全日空にて成田空港へ		-	-	機内食
			羽田空港	着	14:05		全日空にてシカゴ空港へ				
			羽田空港	発	17:40	AC 002	全日空にてシカゴ空港へ				
日付変更線通過											
			トロント	着	16:45	専用車	エアカナダにて直行トロントへ 到着後、世界大会登録後 ホテルへ		-	機内食	○
			ホテル	着			(トロント 泊) ウェスティン プリンストロント利用予定				
2	6月23日	土	トロント滞在			専用車	朝食 ホテル トロント市内観光:ダウタウン観光 昼食(中華) オンタリオ湖畔散策 (トロント 泊) ウェスティン プリンストロント利用予定		○	○	○
3	6月24日	日					[終日]国際大会 開会本会議1回目 10:30~12:30 開会本会議2回目 15:30~17:30 北海道ナイト参加(会場~ホテル送迎) (トロント 泊) ウェスティン プリンストロント利用予定		○	-	-
4	6月25日	月					朝食 ホテル 終日 ナイヤガラの滝観光(片道2時間 バスにて) (トロント 泊) ウェスティン プリンストロント利用予定		○	○	○
5	6月26日	火	ホテル	発		専用車	ホテルより空港へ				
			トロント	発	13:45	AC001	エアカナダにて一路羽田空港へ 日付変更線通過		○		機内
機内 泊											
6	6月27日	水	羽田		15:35	NH73	着後 国内線にて乗継		機内	-	-
			羽田		17:00		全日空にて新千歳空港へ				
			新千歳		18:30						

※ 上記は2017年9月20日の予定であり航空会社、利用施設の都合により変更になる場合がございますので予めご了承ください。

この旅行のお問い合わせ

旅行企画 名鉄観光サービス(株) 住所 札幌市中央区北3条西3丁目 (NREG北三条ビル)

電話 011-205-5222 担当 下口谷



2017-2018年度

インターアクト研修旅行 報告

地区インターアクト委員会

委員長 齋藤 貴之

(札幌モーニングRC)

7月27日(木)から30日(日)まで3泊4日の日程により、第2510地区の5校より16名のインターアクター、5名の顧問教諭、2名のロータリアンの総勢23名で台湾へ研修旅行を実施致しましたので、ご報告させていただきます。当初より研修旅行の位置付けを明確化する為、「体験・交流・学び」と目的を掲げ、また顧問教員からの提案で「実施チーム」を設立し、事前ミーティングを重ねて、プログラムのポイントや問題点の検証、リスクの洗い出しや、交流先の歓待へのお返し等、経験の深い教員のアドバイスや知見を共有し当日を迎えました。交流先に関しましては、前年度より継続で、全土の自閉症の青少年を束ねる「中華民国自閉症総会」への訪問、またRI第3490地区土城RCの洪俊傑様の多大なご尽力により、台湾中部、RI第3470地区嘉義RCの提唱する嘉義基督教協同高等中学インターアクトクラブとの交流が実現でき、素晴らしい研修旅行になりました。

1日目は台湾市内への到着がフライトの関係で20時頃になる為、殆どプログラムを行えませんが、まずは台湾で最も活気のある士林夜市へバスで向かい、地元の空気感を感じ、アジアの市場を体験するところからスタートしました。通じない言語を駆使した注文や価格の交渉などで文化の違いなどを体験し、海外の洗礼を浴びますが、普段当たり前コミュニケーションが通じる世界から飛び出し、スタートの場として良い機会であるといつも感じます。

2日目はまず代表的な史跡の忠烈祠と故宮博物院の2箇所を見学しました。移動中、ガイドより自身が参加した軍役制度や、それに関わる忠烈祠の持つ意味などの説明を受けて衛兵の交代式を見学します。故宮博物院ではガイドから詳細な説明を受け大量の宝物を見学し、中国の悠久の文化を学びました。昼食時には、JTB台湾の張様から「戦中戦後の台湾について」という講話を頂戴しました。この方は現在86歳で、まさしく戦中戦後の台湾と日本をご存知の数少ない貴重な方です。参加者の感想も、日台の絆や友情の大切さ、また戦争の悲惨さなど、体験者の講話は、常に心に響くものがあり、貴重な学習の場でありました。昼食後は4回目になる中華民国自閉症総会訪問で、全土の自閉症の青少年の組織を取り纏める総本部且つデイケア施設で交流を行いました。継続した交流により訪問を大変期待されており、過去3年も歓待を受け

ました。施設の説明、デイケアルームにて施設利用者との交流、また、一緒に折り紙を折ったり、踊りや歌を披露しあうなどのプログラムを行いました。インターアクターも、国籍や言葉の違いを超えてボランティアシップが伝わることを感じ、交流の意義を見出すことができたと感じます。2日目の最後はアニメ映画「千と千尋の神隠し」の舞台ともなった九份の体験と夕食でした。

3日目は嘉義基督教協同高等中学インターアクトクラブとの交流でした。総勢23名のインターアクターが歓待で出迎えてくれた後、講堂にて双方のロータリークラブからの挨拶やお土産の交換、インターアクターの挨拶を行った後、場所を変えて体育館で交流を図りました。ゲーム形式でのコミュニケーションでは、嘉義のインターアクターが英語で会話を行い、青少年特有の協調性で言葉の壁も乗り越え、昼食やそのあとの歌や踊りの披露、また共に踊ったりとどンドンと親睦が深まり、連絡先の交換などをして再会を約束しました。また当地区のインターアクターから北海道の魅力とインターアクトの活動風景のプレゼンテーションを行いました。台湾の皆様の歓待に対する情熱は素晴らしく、短い時間ですが、貴重な国際交流の場を感じ、日台どちらかでの再会を祈念する姿は、相互理解の場として貴重で価値があるものといつも強く感じます。

総括として「体験・交流・学び」がテーマの研修旅行の中で、確実にインターアクターは一定の成長をし、支援を行うロータリーについて理解を深めていると感じます。目的を明確化することで、国際交流・国際理解・社会支援など重要な事象を感じ取り、更に、国と人を通じて、自身の国や言語、歴史的背景、友情や学びなどを感じ、更に台湾のロータリーやインターアクターとの継続した交流も、関係を深めていくために大変貴重であると考え、非常に意義のあるプログラムとなっているものと考えます。末尾となりますが、地区内の全てのロータリアンに対してご支援頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。





第6回全国インターアクト研究会・ 第4回全国インターアクト委員長会議出席報告

地区インターアクト委員会

委員長 齋藤 貴之

(札幌モーニングRC)

8月19日(土)・20日(日)の2日間、栃木県宇都宮市にて、第6回全国インターアクト研究会・第4回全国インターアクト委員長会議が開催され出席して参りました。初日は前述の会議への出席、2日目は第2550地区インターアクト年次大会への出席というプログラムでした。

初日は、第6回全国インターアクト(以下:「IAC」と表します)研究会としまして「基調講演:インターアクター(以下:「IA」と表します)たちがつないだ架け橋」と題して、第2550地区青少年奉仕委員長、第3470地区(台湾)パストガバナー陳氏、第3470地区(台湾)国際奉仕委員長黄氏によるトークセッションで2001年3月26日東日本大震災の直後から続いている相互訪問についての講話が行われました。両地区はこの年より6年間、相互にIAが研修旅行等で訪問しあうことで交流を続けています。台湾から日本へのIAの受け入れの際も、交流や観光だけではなく、地域の神社の清掃など社会奉仕活動を協同することで、より強固な関係性を築いてきたとのことでした。

その後、第4回全国IAC委員長会議としまして、「題目①:国際理解について」「題目②:IACと共に何が出来るか」として、全国の地区委員長の情報交換が行われました。特に問題点として、IACの提唱クラブではないクラブへの理解促進、危機管理について保険加入の必要性が議題に上りました。更に公立高校では校長や顧問教諭が変わるため、ロータリー側からコミュニケーションを上手にとる必要があるという意見や、IAに対してはクラブの会長(部長)幹事(副部長)のリーダーシップ会議などを開催し、意識の醸成を図ることも重要であるという点も非常に参考になりました。

その後各会議報告としまして、同時刻に行われていた「IAC会長・幹事会議」「IAC顧問会議」の発表も行われ、会長・幹事会議では

「先生方の指令を受けて自動的に動いていると感じており、積極的に自分自身で動く力が必要」というクラブ会長の力強い言葉や、顧問会議では「IACの活動の中で問題解決能力を経験や体験で鍛えることが可能。未知の問題を解決できるようになる。何が問題で何をすべきか、自らの可能性を広げるというの

が大切と考える」という真摯な顧問教諭の意見も聞くことができ、大変に参考になりました。

2日目は第2550地区の第21回IAC年次大会へ参加するプログラムで、「テーマ:Beyond Borders/境を越えて」に基づき17校の第2550地区IACの活動報告と、他地区の事例としまして第2680地区(兵庫)滝川中学校・高等学校IAC活動報告を拝聴しました。第2550地区活動報告では、地区の場所柄、足尾銅山鉍毒事件の鉍山跡地への植樹活動や、当地区と同様に台湾研修旅行の実施を中心とした活動報告、またそれ以外に各校独自の活動報告を聞きました。中でも栃木工業高校の「空飛ぶ車いす」と称して、「不要になった車いすを一度分解し修理し手荷物として持参してもらう。生徒全員が体験できるように1年生の総合学習で実施。」という活動もあり、工業高校ならではの興味深く聞きました。

その後の第2680地区滝川中学校・高等学校IACは、おそらく全国で最も活発に活動しているIACであり、特筆すべきは熊本などの被災地に赴き復旧支援活動で土砂の搬出・家財の移動などの実施や、東日本大震災では当時より今まで継続して支援活動が実施されており、がれき撤去等の復旧作業から生活再建・心のケア、水産加工場での清掃ボランティア(仙台育英高校と共同)、大川小学校の遺留物再生保存、兵庫県豊岡地区で育てたアイガモ農法でつくった米を被災地150世帯へ届ける(お米の一握り運動(義援米)活動も実施しています。更に近年被災地への関心が薄れてきているため震災学習も重ねているとのことでした。

今年で参加2回目となりますが、他地区の活動を聞くことは大変参考になり、また本件を地区委員会内で共有することでよりIACの活動が活発化するものと考えております。





一業一会員制と親睦の関係

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井清治

(函館亀田RC)

職業奉仕を考えるうえで一業一会員制は必要不可欠で、その基礎をなすものが職業分類表であります。1924年にRIから標準職業分類概要と標準職業分類表がだされ、人間の生活に欠かすことができないものを大分類とし、それに付随するものを小分類に細分化すると共に、すべての職業分類は、その人自身ではなく、その人の職業を表すべきであるという見解に統一されました。すなわち、Baker パン屋さんではなく Baking パン製造、銀行頭取ではなく銀行業というように定められました。そして、この標準職業分類表に収録されていない職業はガバナーに届け出て、ガバナーがRI本部の承認を得て、始めて使うことができるとされておりました。RIは1963年に標準職業分類表の発行を含めた一切の作業を中止し、現在に至っています。きっと毎年のように発生する新しい職業分類の追加や更新が、RIの事務処理能力を超えたためと推測されます。作成は各クラブの自治権に委ねられ義務づけられています。

私たちはロータリーに入会すると同時にクラブから職業分類を貸与されます。

ロータリーの特徴でもある一業一会員制を基本とする考え方による職業分類は、職業奉仕の実践をする上で、それぞれの会員の守備範囲を定める重要な要素であるとともに、責任を定めています。いかなる天変地異や戦乱が起ころうとも、自分に貸与された職業分類に従った職業奉仕活動を継続することによって社会に奉仕する義務があることを私たちは忘れてはなりません。

そこで、少し歴史を振り返ってみましょう。ロータリー創立の動機は「親睦」と「物質的相互扶助」にありました。もし、同業者が同じクラブ内にいれば、真底心を開いて語り合うことはできません。事業上のトップ・シークレットを語り合う発想の交換も、同業者がいては満足にできません。従って、クラブ内におけるゆるぎなき純粋親睦を守るための方策として「一業一会員制」が生まれたのだと考えられます。つまり同業者排除の精神です。

創立から10年後の1915年にディビジョナル正会員制度ができて、正会員の了解が得られれば、同業者が入会することが可能となりました。すなわちロータリーが出来て僅か10年で、一業一会員制は崩れたこととなります。1939年にはシニア・アクチブ会員制度が導入されて、一定の条件をクリアし本人が同意すれば、シニア・アクチブ会員に

移行でき、その後に同業者が正会員として入会できるようになります。また、1970年には、シニア・アクチブ会員への移動が強制的となり、本人の意図とは関係なく同業者が入会できるようになって、ここで、「一業一会員制」は実質的に崩壊したといえるでしょう。現在は「5名またはそれ以上の正会員がいる職業分類からは、正会員を選出してはならない。ただし、会員数が51名以上のクラブの場合は、同一職業分類に属する正会員がクラブ正会員の10パーセントより多くならない限り、その職業分類の下に正会員を選出することができる。」と表現されております。この10パーセント・ルールが出てきた頃から日本のロータリアン数も減少に転じてきたように思えるのはただの偶然でしょうか？

一業一会員制から一業多会員制になった現在は同業者がたくさん入会してくる結果、クラブライフの中核である「親睦」が崩壊する危険性が考えられます。親睦のエネルギーを世のため人のために放流しよう、即ち「親睦なくして奉仕なし」と言われるロータリーにあっては、親睦の崩壊は奉仕の形骸化、ロータリーの魅力の喪失を意味します。そこで、いま私たちが考えなければならないことは「Fellowshipの強化」まさしく国立ガバナーの提唱する「取り戻そうロータリーの心」であると思います。

私達ロータリアンの職業が違うということは互いに「異質」であります。またロータリアンは企業の管理者としてレベルは同じです。レベルが同じだと仲良くなれます。レベルが同じということは互いに「等質」です。「異質」と「等質」が出会うと爆発的自己改善効果が起こります。ロータリーで漠然と切磋琢磨とか自己研鑽とか言われていますが、これは「異質」と「等質」の出会いのことであり、ロータリーは異業種の会員の知恵を例会の親睦を通して学ぶことです。本来Fellowshipという概念は、「正義のために仲間と積極的に立ち上る」という意味があります。FellowshipとFriendshipの違い、また、「親睦」と「親睦活動」の違いをクラブの皆さんで討議してみたいはいかがでしょうか。

—参考・引用文献—

塚原房樹 RI2510PG(札幌東RC)
著「ロータリーと否定の論理」
田中 毅 RI2680PG(尼崎西RC)
著「ロータリアンの責務」

新入会員研修会について

地区クラブ支援委員会

副委員長 **山根良隆**

(岩見沢RC)

7月23日(日)、札幌にて初の地区クラブ支援委員会が、国立金助ガバナー出席のもと開かれました。各クラブから地区会の相談窓口として、何ができるのかなど色々な話し合いの中、ガバナー月信にて毎回委員会として何かを発信していこうということで、今月号では、新入会員研修会について取り上げたいと思います。

各クラブにおいて新入会員の研修会は、それぞれマニュアルに沿って行われている事と思われませんが、今回は岩見沢クラブの研修会をご紹介します。2014年～2015年度鎌田誠会長が岩見沢クラブ独自の新入会員のためのオリエンテーションマニュアルを作り、毎年このマニュアルにより、新入会員およびそのスポンサーとともに新入会員のためのオリエンテーションを行っています。このマニュアルは33項目14ページにわたり作られていますが、長くなりますので目次のみ記載いたします。

まず「4つのテスト」、ロータリーの目的、ロータリーの理念、「超我の奉仕」を説明し、

1. ロータリーの組織
2. ロータリーの発祥
3. ロータリアンの資格
4. ロータリークラブの会員の種類
5. ロータリー活動
6. 進んで参加してください
7. ロータリアンとしての特典
8. ロータリアンとしての義務
9. 入会金および会費
10. 出席について
11. 例会での服装について
12. エムブレムとバッジについて
13. 例会場のシステム

14. 時間について
15. 例会について
16. メイクアップについて
17. ニコニコボックスについて
18. 例会場でのあれこれ
19. バナーについて
20. 理事・役員の任期について
21. 理事、役員、委員会
22. クラブ内の諸会合
23. クラブ以外のロータリーの役職
24. 地区・グループ(分区)とは
25. 地区大会
26. 地区協議会
27. IM
28. 国際大会
29. 第三分区(グループ)のクラブの例会日時と会場
30. ロータリー財団と米山奨学会について
31. 推薦者
32. ロータリーは私たちに何を与えてくれるのだろうか
33. その他

となっていて、このマニュアルを出席した新入会員に声を出して読んでもらい、それぞれの項目の説明をしていきます。今、ロータリーは大きく規定が見直され変わろうとしていますので多少内容の見直しが必要ですが、新入会員だけでなく、どの会員にとっても基本に立ち返る有意義なものと感じました。それぞれの項目の内容は限られたスペースの中で載せられませんが、マニュアルの内容を詳しく知りたい方は、地区支援委員会までぜひご連絡ください。

函館東ロータリークラブ

60周年記念祝典報告書

私たち函館東ロータリークラブは、本年創立60周年を迎えました。

去る9月2日(土)に函館市長の工藤壽樹様及び国立金助ガバナーを始めとするご来賓の皆様、さらに友好クラブであります長崎東ロータリークラブよりご婦人を含む13名の皆様及び第10グループと11グループより多数のロータリアンを迎えて、記念式典に引き続いて祝賀会を盛大かつ和やかに開催することができました。

当日は、何かと不手際があったと思われませんが、ロータリーの友情に免じてご容赦いただいたものと存じます。ご出席の皆様には、深甚なる感謝を申し上げます。

式典に先立つ9月1日(金)には、記念ゴルフコンペを北海道カントリークラブプリンスコースにおいて開催しております。長期予報では曇り時々雨の予報もあり心配しておりましたが、開けてみれば良い天気で、穏やかなゴルフ日和となりました。

記念式典と祝賀会に先立ちまして、60周年記念事業を執り行っております。

私たちのクラブは、古くより高校生に対する奨学金支給やロータアクトクラブのスポンサーになるなど、青少年に対する支援事業を柱として奉仕活動を行ってまいりました。このような歴史を踏まえて、2件の事業を計画し、実行いたしました。

先ず一つは、函館市内の小中学校に対する車椅子の寄贈です。小中学校に車椅子というと違和感を感じる方がいらっしゃるかもしれませんが、学校というのは、生徒のけがや病気、又は年配の方の訪問など、意外に車椅子の需要が多いそうです。

7月7日に市役所において函館市長に目録を贈呈いたしました。教育委員会からも高い評価を受けることができました。

次の事業は、8月28日に杉村太蔵氏を迎えて行いました、「人生どん底からの大逆転～使われる力」と題する講演会の開催です。月曜日の午後4時からという開演時間にも拘らず、700名ほどの皆様にご入場いただきました。

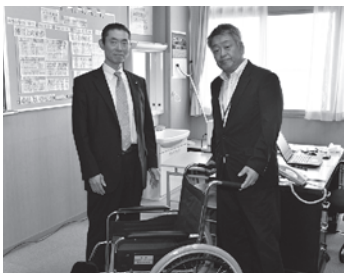
講演の内容は、杉村太蔵氏ご自身の体験に基づいて、どん底からでも真面目に取り組めば人生は開ける、くじけないで、勇気をもって生きようというものでありました。

講演の途中では、来場した高校生を壇上に上げて日本の課題について討論する場面もありました。又、質疑応答には真摯に受け答えされており、講演は好評の内に終了いたしました。

来場者の年齢は中高生からシニア世代まで幅広かったとお見受けいたしましたが、若い方だけではなくシニアの皆様にも勇気を与えることができたのではないかと自負しております。

以上、創立60周年記念式典並びに事業について駆け足でご紹介いたしました。

今回、私達が60周年を迎え、記念式典等を執り行うことができたのも、式典にご参集いただきましたロータリアン各位の長年にわたる友情の支えがあればこそであります。改めて皆様に深い感謝を表しまして、60周年記念式典の報告といたします。



●函館市へ車いす寄贈



●記念講演会



●記念式典・祝賀会

地域に根差したクラブを求めて続けて

余市ロータリークラブ 会長 藤田 功

過日、ガバナー公式訪問・クラブ協議会において、当クラブの事業内容を紹介しましたところ、国立ガバナーより、「いくつかのクラブが継続事業存続を模索している中、数十年続く余市さんの事業を紹介してくれないだろうか」とガバナー月信への投稿の依頼を受けました。

余市ロータリークラブが行っている地域への奉仕活動（社会奉仕、青少年奉仕）として、4つの柱と成る事業を紹介させていただきます。

当クラブが主催する事業としては、『余市ロータリークラブ杯学童水泳大会』、『障害者就労施設の園生とのりんご狩り』。そして、後援をする事業としては、『余市町全日本ジュニアサマーjump大会』、『余市町の児童生徒の文化、芸術活動振興事業』があります。

はじめに紹介するのは、今年で34回目を迎える『余市ロータリークラブ杯学童水泳大会』です。

34年前、当時の先輩たちが、懸命に水泳の練習をしている子供たちに「何かプレゼントが出来ないだろうか」という思いで立案企画し、選手出場依頼のため町内の各学校を訪問し、学校長へお願いに歩き、そして、水泳連盟のご協力を得て実現した大会です。

水泳を始めて、まだ日の浅い児童でも参加できるように、ビート板を使った競技から、個人メドレーやバタフライなどの上級者競技まで多くの児童が参加し、現在では、北後志管内の未就学児童及び小中学生が約60～70名、保護者の方を入れますと100名以上の参加をいただくまでの大きな事業に発展しました。

同大会では、オリンピック種目並みの競技数を誇り、上位入賞者には、金、銀、銅のメダルが授与されます。このメダルを楽しみに、子供たちは、大会に向け練習にがんばっているそうです。保護者の方々も、子供や孫の活躍を楽しみに、毎年たくさんの応援とお手伝いを頂いております。また、歴代の大会記録保持者の中には、スキージャンプ金メダリストの船木和喜氏や当クラブの会員の名前も残ってしまっており、33年の歴史ある事業へと発展しました。

二つ目の事業は、障害者就労施設「NPO法人 余市はまなす」の園生や職員の方々と一緒に行う『りんご狩り』であります。

旧会津藩士が入植し、明治初期、リンゴ栽培をはじめた地でもある余市町。1996年、当クラブ創立35周年式典において、会津若松城南ロータリークラブとの姉妹クラブを締結。これを記念して5本のリンゴの苗を両クラブ会員の手で植樹いたしました。その後、リンゴの苗は実を結び、2000年より「余市はまなす」のみなさんとのりんご狩りを通じた交流が始まりました。以来、17年間、毎秋、リンゴの実を収穫しています。同施設では、このりんごがきっかけで、アップルパイを作ることになり、余市駅前にて施設が運営する「はまカフェ」などで販売、貴重な収入源となっているそうです。

この5本のリンゴの記念樹は、今年も、たくさんの実をみらせてくれています。

続いて、後援する事業の一つ『余市町全日本ジュニアサマーjump大会』を紹介します。同大会は、昭和45年より17年間、冬季に当クラブが開催していました『余市ロータリー杯後志少年jump大会』にその起源があります。

当時の先輩会員がスキー連盟の皆さんと一緒に、厳寒の中、数日間かけて、山の斜面の雪を踏み固めてジャンプ台を作り、会員のご夫人たちが温かい鍋料理を振る舞うなどして、この大会を開催したそうです。

そして、オリンピック代表選手を含め、国内のほとんどの選手がこの大会に出場し集立っていったそうです。しかし、この大会もジャンプ人口の減少により残念ながら17年の歴史に幕を閉じる事となりました。

それから数年の月日を経た2000年、サマーjumpが可能なジャンツェが余市町に新設されました。それを機に2001年より『余市町全日本ジュニアサマーjump大会』が開催されることになり、以来、この大会の後援を行っております。

この大会は毎年7月下旬から8月初旬に、余市町のジャンプ台「竹鶴ジャンツェ」において開催されており、余市町その他、上川町や下川町・小樽・札幌・長野・新潟・秋田・岩手・東京などから集まった小中学生（約80名）が男女の部に分かれ、炎天下の中、熱戦を繰り広げています。

過去の大会には、高梨沙羅選手や伊藤有希選手らも参加していて、近年は女子ジャンパーの参加が増えて来ています。この子供たちの中からも、将来のオリンピック選手が生まれるだろうと期待し声援を送り、この大会を応援サポートしています。

また、毎年11月には、余市町の児童生徒の文化、芸術活動振興のための一環として、美術書道展、俳句の集い、読書感想文コンクールへの後援を行っています。余市町教育委員会が主催するこれらの事業では、「余市町内に住む児童生徒たちの情操を高め、観察力や想像力を伸ばす」という趣旨に賛同して、優秀者を表彰し副賞等を贈っています。

以上が、余市ロータリークラブが永年にわたり行っている主な継続事業です。

当クラブの行う事業は、どれも長い年月を経過したものであり、事業当初からの経緯を知る会員も減りつつありますが、その志を忘れずに、今後も先輩諸兄が築き上げてきた事業を守り、発展させ、引き継いで行きたいと思っております。



1993年10月30日
『余市ロータリークラブ杯学童水泳大会』の光景



2016年10月19日
『余市はまなす』のみなさんとのりんご狩り風景



2017年7月31日
『第18回全日本ジュニアサマーjump大会』の光景

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

栗沢回ロータリークラブ

7/19(水)

7月19日(水)に国立金助ガバナー、山本公彦ガバナー補佐、上野英一ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問が開催されました。

午後4時からの会長、会長エレクト、幹事との懇談は、山本ガバナー補佐の司会進行で始まり、中村会長より当クラブの現況及び活動内容、My Rotary100%登録済み等について説明いたしました。国立ガバナーからは、他クラブでの会員増強の取り組み事例や70・80歳代会員による会員卓話によるクラブ活性化の取り組みなどクラブ運営についてのアドバイスをいただきました。

午後4時半から開催されたクラブ協議会では、各委員長が活動計画をそれぞれ発表し、国立ガバナーから懇切丁寧な講評があり、終了いたしました。

その後、午後5時から夜間例会が行われ、国立ガバナーからご挨拶をいただき、函館の地区大会での再会をお約束し、和やかな雰囲気ですべて終了いたしました。例会終了後、国立ガバナーを囲んで記念撮影を行い、公式訪問を終えました。



小樽回ロータリークラブ

8/1(火)

8月1日(火)、国立金助ガバナー、泉侑ガバナー補佐及び久保俊幸地区幹事をお迎えして公式訪問を実施いたしました。

10時からの会長・幹事懇談会では当クラブの会長・幹事と次期会長・幹事合わせて4名で懇談をさせていただき、小樽RCの現状や今年の活動等について末永会長より報告させていただいた後、国立ガバナーから『夢を語る』という今年度の目標と具体的な活動などにつきましてお話をいただきました。11時からのクラブ協議会では、各委員会の委員長より自己紹介を兼ねて事業計画と進捗状況等を発表し、その後国立ガバナーより講評を頂き、終始和やかな雰囲気の中でクラブ協議会を終了いたしました。

クラブ例会では、日本のRCの問題点(女性会員が少ない、高齢化)にはじまり、3枚のRC宣伝用ポスターの意義(世界的な組織、ポリオ撲滅、奨学金制度などで社会に貢献していること)、環境問題に対する植樹の課題などをお話し頂きました。小樽RCのメンバーは国立ガバナーの“温和な中にも熱い闘志”で第2510地区を牽引する意志を感じることができました。

国立ガバナーにおかれましては、お体にご留意されまして、残りの公式訪問をはじめ年度内全ての事業が無事に終了されますことを祈念申し上げ、公式訪問の御礼とさせていただきます。国立ガバナー誠にありがとうございました。



余市回ロータリークラブ

8/2(水)

8月2日(水)、国立金助ガバナー・第6グループ泉侑ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前日の8月1日は、小樽RC例会訪問を終えて、余市にご訪問を頂き、国立ガバナーご夫妻をお迎えしての夕食会を催す事が出来ました。当クラブからは藤田会長、2名の地区出向者、次期ガバナー補佐候補者、幹事の5名が同席しました。夕食会では、ロータリークラブでのご経験談や地区大会のお話、青年会議所時代の思い出話など、話題が尽きず、時間を忘れ、2時間以上お付き合いを頂いてしまいました。

8月2日、午前10時より、会長・幹事懇談会が開催され、藤田功会長から当クラブの特徴や活動状況の説明を行い、クラブ状況を把握、検証して頂きました。

また、国立ガバナーからは、「120万本植樹事業」「地区目標」「地区事業」などの取り組みに関する状況報告と今後の予定についてのご説明がありました。意見交換の場では、当クラブが行ってきた事業の独自性と継続の重要性を評価頂き、今後の事業展開の必要性について、アドバイス頂きました。あわせて、当クラブの詳細な活動内容について、「ガバナー月信」への投稿の要請を受けました。

11時からはクラブ協議会が開催されました。各委員長との活動計画の意見交換のほか、地区クラブ支援委員会や地区補助金の活用、奨学生のクラブ訪問の推進、地区重点課題に向けての活動について、国立ガバナー、泉ガバナー補佐から貴重な情報やアドバイスを頂きました。

12時30分より例会が開催され、国立ガバナーからRIのテーマ・地区目標・ポリオ撲滅などについてお話を頂き、今後のクラブ活動に向け、有意義な時間を過ごすことができました。

今回の公式訪問では、国立ガバナーのお心遣いもあり、会話と笑顔の絶えない楽しいムードの中、和やかに例会を終えることが出来ました。また、ガバナーのロータリーに対する情熱とその温かいお人柄に触れることが出来、今後の活動の励みとなりました。会員一同、心より感謝申し上げます。

終わりに、国立ガバナーにおかれましては、公式訪問もまだ道半ばとお聞きいたしました。ご自愛の上、ご活躍を期待申し上げますと共に公式訪問、地区大会の成功を祈念申し上げます。



小樽錢函ロータリークラブ

8/3 木

8月3日、国立ガバナー、藤井ロータリーの友地区代表委員、泉ガバナー補佐の3名をお迎えして公式訪問が行われました。

2年連続の会長でしたので、緊張せずいろいろお話ができました。

事業活動は昨年と同じく引き続きおこない、青少年野球大会が34回迎えたこと、40周年記念事業で始めた歩こう会は継続、昨年から始めた海浜の清掃活動・フォトコンテスト・雪明りも継続、又、新たに中学生の職場体験を行うべく検討中などの報告をしました。

ガバナーは、古い事業の継続と共に新事業を取り入れて行くことは、本当に良いこと、又、ポリオのポスター3枚について説明がありガバナーの思いが伝わりました。

募金活動については、これからも何かの行事の機会に伝えながらがんばりたいと思います。

今回は夜間例会でしたので、アルコール入りで和気藹々と談笑できました。・ガバナーは飲めないそうで残念。奥様はいけるようで！藤井さんの長唄をお座敷で聞きたかったです。泉ガバナー補佐とは2次会楽しく過ごし、今までに無い公式訪問でした。



当別ロータリークラブ

8/8 火

8月8日（火）国立ガバナー、山本ガバナー補佐、青木ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問例会が行われました。

国立ガバナーからは、最初に「120万本の植樹」について、9月9日に道民の森で行われる植樹の協力をお願いされました。

次に3枚のポスターを作るようになった経緯と、そこに込められた思いをお話いただきました。特にポリオについては、撲滅の瞬間が本当に近づいてきているのかと期待をさせてくれるお話で、31年もの間協力してきた成果が形になる時が楽しみです。同時にポリオ活動を実際に届け続けているスタッフの犠牲や苦勞があって実現していることを改めて感じることができました。その時が来たら、赤い「END POLIO NOW」のバッチをつけて皆で喜びを分かち合い、大いにPRしたいと思います。

また、69クラブを訪問するガバナーだからこそ感じるロータリーの問題点として、札幌と地方との格差を挙げ、タイムリーに情報を共有することの大切さをお話し頂きました。



羽幌ロータリークラブ

8/10 木

今年度の羽幌ロータリークラブのガバナー公式訪問は、平成29年8月10日に開催され、国立ガバナー、久保地区幹事、轡田第1グループガバナー補佐、佐々木ガバナー補佐室長の4名で当クラブを訪問されました。

午前10時からの会長、会長エレクト、幹事との会議が行われ、当クラブの運営にかかわるアドバイス等をいただきました。

そのあと、クラブ協議会が開催され、各委員会の活動計画が委員長より発表、意見交換が行われました。その中で、当クラブの職業奉仕委員会が企画している「職業奉仕賞」にガバナーが着目され、他のクラブではあまり行っていない企画であるという事で、深く意見交換がなされ、ガバナー月信に載せたいので過去の資料を整理して送ってほしいとの要望がありました。

12時15分からの例会では、昼食を皆さんで国立ガバナーよりロータリークラブの最新情報や、函館の地区大会への多くの参加に感謝され、また、ポリオや災害義捐金、道民の森での植樹参加に大変感謝されておりました。

和やかな雰囲気の中、例会終了後、記念写真を撮って終了した今年度のガバナー公式訪問でありました。



小樽南ロータリークラブ

8/18(金)

8月18日(金) 国立ガバナー、泉ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー・会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会(ガバナー公式訪問)を開催いたしました。

国立ガバナーとの懇談では当クラブの事業に興味深く耳を傾けていただきました。特に青少年奉仕委員会が担当している事業に関心を抱いていただき、中でも設立当初(57年間)から継続をしている優秀高校生表彰の事業については、他のクラブに対しても参考になる事例というお言葉をいただきました。

例会では3つの地区目標について詳しく内容を説明していただき、特に会員増強へは3枚のポスターが物語るように、強い思いを感じることが出来ました。

松浦会長率いる当クラブにおいても増強3%以上という目標を掲げ、特別委員会を設置するなど会長自らリーダーシップを発揮しております。

年度末には国立ガバナーに良い結果報告ができるよう邁進をまいります。



札幌手稲ロータリークラブ

8/19(土)

8月19日(土) 国立ガバナー、石丸ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

午前10時よりの懇談会では、当クラブの歴史と活動の概要、特に西区・手稲区中学校スポーツ大会(札幌西北ロータリークラブ共催)、高校生奨学金制度、今年度計画の小学生作文コンクールなどの青少年の健全な育成に資する活動を中心に説明いたしました。国立ガバナーからは、これらの活動に高い評価をいただき、当クラブの今後さらなる活動に期待を寄せられました。

午前11時からのクラブ・アッセンブリーでは各委員長、部門リーダーが今年度活動計画を報告し、新会員の2名からはロータリークラブ入会の感想、今後の抱負などを発表いたしました。国立ガバナーの講評では、新会員に「とても素晴らしいクラブにご入会されましたね」とお言葉をいただきました。

また、当クラブ定款細則に「決議23-24」原文が記載されていることに強い関心をお寄せいただきました。

例会ではガバナーより卓話をいただき、「ロータリーイメージポスター」のお話、「120万本の植樹」のお話、「地区テーマ」のお話といずれもわかりやすく丁寧にお話をいただきました。国立ガバナーの誠実で気さくなお人柄と石丸ガバナー補佐の親クラブ(札幌西)ならではの温かいご配慮に当クラブ会員皆が魅了され、無事公式訪問を終えました。



三石ロータリークラブ

8/21(月)

8月21日(月)、国立金助ガバナー、藤井方雄ロータリーの友地区代表委員と小林栄一第8グループガバナー補佐をお迎えして公式訪問が開催されました。

クラブ協議会では120万本の植樹、財団への寄付の協力と地区補助金の積極的な活用等について話されました。

例会での卓話では「ロータリーは夢を語り合う楽しい所」という自身の心情について述べ、又イメージポスターについて解説し、「ロータリーの心」を再検証してロータリーの基本理念である職業奉仕を再認識する事が大切と話されました。

更にクラブ支援委員会の活用と地区大会への参加を呼びかけておりました。

例会は終始なごやかな雰囲気で行われ、最後に記念撮影をして閉会となりました。



静内ロータリークラブ**8/23水**

8月23日(水) 国立ガバナー、小林ガバナー補佐、大槻地区幹事、細川パストガバナーをお迎えし、エクリプスホテルにて開催いたしました。

午前10時に当クラブから会長・幹事・会長エレクト・副幹事が出席して会長・幹事懇談会を行いました。河原会長から当クラブの活動方針と活動内容、特に青少年育成の活動として「静内ロータリークラブ杯桜舞サッカーフェスティバル」「静内ロータリークラブ杯小学生バレーボール大会」を継続主催し、高校生の就職アドバイザーとして模擬面接講座の指導などを行っている事を説明致しました。

引続き午前11時からクラブ協議会を開催し、5大奉仕委員長より本年度の活動計画とその進捗状況などを発表させて頂きました。その後、幾つかの質疑応答の中で、会員より財団の会計が不明なのではないかとの質問に対して、ガバナーよりRIのホームページに財務諸表等の資料が開示されているので確認下さいと説明を頂きました。

12時30分からのクラブ例会では、国立ガバナーより今年度全会員に配布した3枚のイメージポスターを作成した経緯や、ポリオ撲滅まであと少しなので協力して欲しいとの卓話を頂きました。

**えりもロータリークラブ****8/24木**

8月24日(水) えりもロータリークラブ第2146回目定期例会を国立金助ガバナーと藤井方雄ロータリーの友地区代表委員、第8グループ小林栄一ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問として開催致しました。

午前10時より、傳法会長と国本幹事との懇談会を行いました。午前11時より始まったクラブ奉仕委員会では、活動報告を、各クラブ奉仕委員長より今年度の事業計画と進捗状況を発表し、その後、国立金助ガバナーより講評を頂き、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。

その後、12時15分より点鐘と共に、第2146回目の例会が開催され、会員に国立金助ガバナーと藤井方雄ロータリーの友地区代表委員が紹介され、その後、国立金助ガバナーより卓話を頂き、地域にロータリーとは何なのかと、地域に理解してもらおう社会奉仕活動が重要な活動であると話され、会員は認識を新たにしていました。

例会終了後、国立ガバナー、小林ガバナー補佐と共に公式訪問を記念し、全員で記念撮影してガバナー公式訪問を終了しました。

**苦小牧ロータリークラブ****8/25金**

RI第2510地区第12グループの中で最後のガバナー公式訪問、国立地区ガバナー、森川地区代表幹事が苦小牧RCにお越しくださいました。9時30分から当クラブ名誉会員の岩倉市長表敬訪問に始まり、市長、国立ガバナー、森川代表幹事、当クラブ渡辺会長のJC時代の話から始まり、昔から知り合いの4人は話が絶えず、時間が迫ると名残惜しんでいました。

10時から会長・幹事懇談会、渡辺会長より今年度のクラブの特徴と、五大奉仕の取り組み方を説明され、国立ガバナーより評価と激励を頂きました。その後、第2回クラブ協議会が行われ、五大奉仕委員会・ロータリー財団委員会の発表後、各委員会に講評をいただきました。後に、ガバナー公式訪問例会にてガバナーからの卓話を頂き、奥様と8月16日に自宅を出発してから未だ帰宅なされてないとのこと、当クラブが31カ所目(69クラブ)とのこと、なのに疲れを見せず当クラブ会員へ120万本の植樹と函館の地区大会への参加を呼び掛けていらっしゃいました。

例会終了後、記念撮影を行い、更に、ロータリークラブが地域に根付いて欲しいとの願いから帰宅前に、地元報道の(株)苦小牧民報社・横田社長のもとを訪れました。

国立ガバナー、佐藤ガバナー補佐、森川代表幹事には、有意義な時間を頂き誠にありがとうございました。



伊達ロータリークラブ

8/29火

国立金助ガバナー、森川順治地区代表幹事には伊達ロータリークラブを訪問いただき、心より感謝申し上げます。当日は、緊張の中、朝9時30分より伊達市菊谷市長を表敬訪問し、ガバナーより直接今年度作成した3枚のポスター「ロータリーは世界組織である」「ポリオ撲滅を継続して呼びかける」「米山奨学金を推奨する」について説明して頂き、市役所への掲示をお願いしました。

会長・幹事懇談会では、今年度の会長方針や概要、現状を報告し、ガバナーより多くのご意見やご指摘を頂きました。

クラブ協議会は、理事・役員のほか、入会1年未満の新会員6名で開催いたしました。はじめに各担当理事から各委員会の活動計画について説明し、ガバナーよりそれぞれの活動に対してご講評をいただき、最後に新会員より今後の抱負を述べました。

例会では、国立ガバナーをはじめ4名のゲストを囲んで昼食をとった後、国立ガバナーから、作成したポスターについてのお話のほか、環境保護の取り組みとしての120万本の植樹についてご講話を頂き、最後に太田会長の謝辞で終了しました。

大変有意義な時間となり、会員一同心から感謝申し上げます。



室蘭北ロータリークラブ

8/29火

会長・幹事会を終え、17時より国立金助ガバナー、森川順治地区代表幹事、石山嘉治地区副代表幹事、松岡健一第9グループガバナー補佐、中田敏行ガバナー補佐幹事の臨席のもと「クラブ協議会」が開催された。荒谷会長挨拶の後、各委員長による活動計画・報告が順次発表された。この間、ガバナーは何度もメモを執られておられた。講評の直前、オブザーバー出席の若手5名の新会員に荒谷会長より発言が求められた。

入会の動機やロータリー対してのイメージ、今後の抱負など述べたが、うち2名の新会員がガバナーに質問、「今後、永らく継続していくにはどうしたら・・・」、「先輩会員と仲間としてうまくやっていくにはどうしたら・・・」と。突然の質問に、これまであまり経験がないと驚きながらも、大変有益で適切なアドバイスを述べていただいた。

18時からは例会が始まり、拍手で迎えるなか入場された。冒頭奥様が室蘭出身で、この地との縁の深さを披露した。毎年、移動献血車による「献血例会」を実施していることを知り、かつて交通事故に遭遇した身内の手術で献血に大変苦労されたことを述べられたが、ガバナーの真摯なその人柄を知り、一同感動を覚えた。会場内に掲示している新たに作成した3枚のポスターについて、その意義を語られた。松岡ガバナー補佐の乾杯の発声で親睦夜間例会がスタート。若手会員がグラスに注ぎに挨拶に訪れ、料理を手にする暇なく一人ひとりに対応していただいた。記念写真を撮り、公式訪問は盛会のうち終了した。



登別ロータリークラブ

8/30水

8月30日、登別クラブの公式訪問は室蘭東クラブさんの後、登別市役所での市長表敬訪問からスタートしました。

国立金助ガバナーと松岡健一ガバナー補佐、石山嘉治地区副代表幹事、中田敏行ガバナー補佐幹事が同行されました。

小笠原春一登別市長との懇談ではポリオ撲滅運動や120万本植樹事業についてお話され、ロータリーのPRポスターを市長へお渡し頂きました。

その後、会場のホテル平安に移動して会長・幹事懇談会、そしてクラブ協議会と進行し、国立金助ガバナーからは当クラブの抱える問題や課題、特に会員増強と各委員会活動の活性化の必要性をアドバイスして頂きました。

そして、例会に入ってから、遠藤秀雄パストガバナーを始め多くの会員の皆さんとお話をされ、懇親を深めることが出来ました。

登別クラブにとりましても大変有意義な公式訪問となり、出席した会員は今後の事業や行事において意識を高く持って取り組めると思います。



新会員のご紹介

(敬称略)



江別RC
皆川 和志
7月20日入会
電気事業



千歳RC
村松 英明
7月13日入会
自動車部品製造



千歳RC
曙 嘉輝
7月13日入会
給排水空調



千歳RC
林 貴
7月13日入会
飲食業



千歳RC
菊地 稔
7月13日入会
総合建設工事



千歳RC
木村 榮治
7月13日入会
福祉サービス業



千歳RC
安達 正子
7月13日入会
食品小売業



千歳RC
遠藤 晴美
7月27日入会
飲食業



長万部RC
伊藤 淳
7月19日入会
内科医



長万部RC
近藤 英隆
7月20日入会
教育行政



苫小牧RC
中村 哲也
9月1日入会
火災海上保険



苫小牧RC
野中 法之
9月8日入会
自動車販売



小樽RC
和田 卓郎
9月5日入会
整形外科

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



札幌東RC

白石 正勝
会員

2017年7月5日 ご逝去
(享年74)

【ロータリー歴】

1987年1月7日 札幌真駒内ロータリークラブ入会
1998年6月30日 " 退会
1999年6月24日 札幌東ロータリークラブ入会
2002-2003年度 米山奨学委員長
2008-2009年度 ロータリー財団委員長
2012-2013年度 副会長・クラブ奉仕委員長
2016-2017年度 第58代会長

米山功労者メジャードナー(22回)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(7回)



羽幌RC

和田 誠
会員

2017年8月19日 ご逝去
(享年60)

【ロータリー歴】

2010年 入会
2012-2013年度 雑誌・広報委員長
2014-2015年度 監査
2017-2018年度 会計



千歳セントラルRC

齋藤 博司
会員

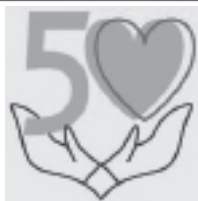
2017年8月31日 ご逝去
(享年67)

【ロータリー歴】

1990年11月19日入会 チャーターメンバー
2005-2006年度 会長エレクト
2006-2007年度 第16代会長
数々の理事並びに委員長を歴任

2009-2012年度 地区財団学友委員長
2013-2016年度 地区奨学金委員長

ポール・ハリス・フェロー
100%例会出席を毎年達成



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2017.9.10

ハイライトよねやま Vol.210

学友・ロータリアンが大集合！—感謝 in 熊本—

「世界米山学友による感謝in熊本」（主催：米山学友合同実行委員会）が8月26日、熊本市内ホテルで開催され、世界18の国・地域からの奨学生と学友196人、ロータリアン204人、その他家族などを含め総勢444人が参加しました。

このイベントは、学友によるロータリー米山記念奨学会財団設立50周年への祝賀に加え、今後、国内外の学友・学友会が横のつながりを持つためのプラットフォーム、「世界米山学友会」の発足を目的としたものです。

同日午前中には、有志80人が益城町立飯野小学校を訪問。当時の被災状況について校長先生の話に耳を傾け、義援金40万円を贈呈しました。

17時から第一部「世界米山学友会設立式典」が始まり、米山梅吉翁の生涯を描く朗読劇、全炳台さんから世界米山学友会の設立が宣言され、次回は2年後、モンゴルで開催することが

発表されました。

また、台湾・韓国の学友がそれぞれスピーチをしたあと、米山学友合同会から第2720地区ガバナー永田壮一氏へ熊本大地震の義援金100万円が贈呈されました。

第二部の懇親会では、タイや韓国、また学友会・ロータリアンのコラボレーションによる民族舞踊と合唱が次々に披露され、会場は大盛り上がりでした。サプライズでくまモンが登場すると熱気は最高潮に達し、子どもから大人まで一緒に“くまモン体操”を踊りました。

会場では偶然の出会いや再会に驚き喜ぶ姿が多くみられました。最後の参加者全員での「手に手つないで」は、会場いっぱいにも広がっても足りないほどで、幾重にも折り返しながら、弾ける笑顔で手を握り、再会を誓い合って閉幕となりました。

記事の続き、および、その他の記事はぜひPDF版をご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight210_pdf.pdf

2020-2021年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 国立金助
地区ガバナー指名委員長 羽部大仁

2020-2021年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

〔参考〕国際ロータリー細則第14条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2017年10月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第1ゾーン担当

「コーディネーターニュース」が今年度も発刊されることに関係者の皆様に心よりの敬意と感謝を申し上げます。元よりロータリー活動は会員の皆様の熱意に因るところが基本であります。このコーディネーターニュースを通じて国際ロータリーの現状の最新ニュースが届けられることと思います。

私はこの7月より国際ロータリー理事を拝命しましたが、何分浅学非才でありますので、皆様方のご指導をお願いする次第です。国際ロータリー理事として、斎藤理事と共に、日本のロータリーが世界から乖離しないように努めるのが責務と考えております。ロータリーコーディネーター並びにコーディネーター補佐の皆様は、会員の皆様と国際ロータリーとの最前線の接点であると思います。このコーディネーターニュースをご活用されますことを祈念致します。

今、世界は全ての分野で「変革」がキーワードです。ロータリーも同様です。変わることを楽しむのが成熟というのではないかと考えるようにしております。
国際ロータリー理事 石黒慶一

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また組織において、高潔さと高い倫理観をもち行動する。
2. 世界の平和と幸福のために、平和と正義の構築に努力し、世界の発展に貢献する。
3. 世界中の職業に誇りを持ち、誇りある職業に誇りを持ち、誇りある人となること、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーは世界中のロータリアンの団結と協力を必要とする活動に貢献する。



公共イメージと認知度の向上=世間の方々に良いイメージで認められる

公共イメージと認知度の向上とは「世間の方々にロータリーを良い印象で知って頂く」事です。そして、世間の方々はロータリー（又はロータリアン）がどんな旨い事を言っても、云っている事よりもロータリアンの行動を見て判断します。

つまり、ロータリアンの日頃の行動が一番大切です。これは大変だ！常に見張られているのだろうか？そんな心配は無用です。第一、四六時中人の目を気にしなければならぬなんて、そんな緊張は持続できません。普通に行動すればよいのです。

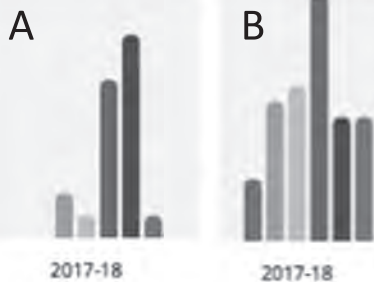
但し、次の事を忘れないでください。
「奉仕・親睦・多様性・高潔性・指導力」つまり中核的価値観と云われている5項目。「中核的価値観」とは難しい言葉ですネ。我々の「行動規範」と受け留めましょう。行動規範を念頭に置いて生き活きと輝いた行動をとりましょう。

又、日頃からロータリー活動だけに偏らないで、地域や広域の業界活動に参加しましょう。又、地域自治会や消防団、交通安全協会活動にも参加しましょう。これらの活動に参加すること自体が（地域社会）奉仕活動です。地域の奉仕活動には加わらないで、「私は日頃から奉仕活動を行っている。」と言っても、通用しないでしょう。

地域の経済活動、すなわち地元商工会や商工会議所活動、法人会や労働基準協会等にも、お誘いが有れば加わりましょう。お誘いが無いのにこちらから売り込むのはおかしいですが、お誘いが有ったら協力しましょう。

ロータリー活動に一所懸命になって居て、「私はロータリーが忙しいので、他の会の活動は出来ません。」等と云う事は間違っても言わない様にしましょう。

その様に心掛ければ、世間の方々のロータリー（ロータリアン）に対する評価は、必ずや上がる事でしょう。
第1ゾーン RPIC 鈴木秀憲



	2017-18	2017-18
● 29歳以下	0	0
● 30-39	0	4
● 40-49	2	9
● 50-59	1	10
● 60-69	7	16
● 70歳以上	9	8
● 未報告	1	8

クラブの後継者を育成しましょう

左のグラフは同じ都市のほぼ同じ時期に創立した2つのクラブをMy Rotaryのデータから年齢別会員数の比較をしたものです。当初の会員数は同じくらいで推移していましたが創立30年目位から少しずつ会員数に変化が見られるようになりました。

さて、このグラフからどんなことが連想されるでしょうか？5年後、10年後を想像してみましょう。Aクラブの会員は大変仲が良く、クラブの運営には満足しているようです。

皆さんならAクラブにどんなアドバイスをされるでしょうか？

ヒントとしては「柔軟なクラブの運営」として例会スケジュールの変更、例会形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供などがあります。

さらに、衛星クラブの導入により、現クラブとの差別化をしてハードル下げたクラブを提供することもできるでしょう。今月号で石黒慶一理事は『変わることを楽しむのが成熟というのではないか』と述べております。「変える」勇気が必要ではないでしょうか？

第1ゾーン RC 酒井正人

米山奨学生の紹介



『日本で追う夢』

札幌清田ロータリークラブ

ヒルダ アマリア (インドネシア)

札幌大学

来日して、今年4年目になりました。幼い頃から日本に憧れています。きっかけはテレビで見たアニメがすごく印象に残りました。

関心のあまり、日本について調べ始めた結果、日本に留学する気持ちがわいて来ました。高校卒業して日本に留学することに決めました。私は「大使」になることを目標にして来日しました。政治や法律のことは大嫌いなのですが、これらを勉強すれば世の中にある様々な出来事がわかってくるのではないかと決心しました。

遡ると、3年前、はじめての留学生活はとても大変でした。日本語を話せない、日本の文化もわからない、馴染めない習慣など、苦勞して時間が経った今は成長したと実感しています。当時、学費や生活費のた

めにアルバイトをして、お金を稼ぎました。苦しい毎日でしたが、母国にいる家族の期待を裏切るわけにはいかないという想いで全てを乗り越えられました。

ロータリー奨学生として選ばれた時は感謝の気持ちでいっぱいになりました。おかげで、アルバイトの日も減らせる、そして、もっと沢山勉強したいことや、やりたいこと、経験したいことに集中できています。日本とインドネシアの「架け橋」になる夢にも近づける気がします。

卒業したら、日本で資格を取って、インドネシアで行われる外務省・外務員の試験を挑戦したいと思います。将来は在日インドネシアの大使館に勤めることを心がけています。ロータリーが結んでくれた絆を永久に守り続けたいです。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌北RC	竹原 巖	会員 (18回)	8月 4日
倶知安RC	吉田 聡	会員 (1回)	8月 24日
函館東RC	黒島 一生	会員 (3回)	8月 8日

米山功労クラブ

新札幌RC	17回	8月 22日
-------	-----	--------

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌北RC	小林 俊之	会員 (4回)	8月 4日
札幌北RC	竹原 巖	会員 (8回)	8月 4日

ポール・ハリス・フェロー

倶知安RC	九津見真由美	会員	8月 24日
-------	--------	----	--------

地区カレンダー (10月・11月)

10月 経済と地域社会の発展月間 米山月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	公式訪問 (恵庭 RC)
5 (木)	公式訪問 (由仁 RC)
6 (金)	
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	体育の日
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	地区大会記念ゴルフ大会 (七飯)
14 (土)	地区大会 (函館)
15 (日)	地区大会 (函館)
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	公式訪問 (函館五稜郭 RC)
21 (土)	
22 (日)	
23 (月)	公式訪問 (長万部 RC)
24 (火)	公式訪問 (江差 RC)
25 (水)	公式訪問 (森 RC)
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	公式訪問 (函館亀田 RC)
31 (火)	公式訪問 (七飯 RC)

11月 ロータリー財団月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	文化の日
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	公式訪問 (洞爺湖 RC)
7 (火)	公式訪問 (函館東 RC)
8 (水)	公式訪問 (函館北 RC)
9 (木)	公式訪問 (北斗 RC)
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	
14 (火)	公式訪問 (函館セントラル RC)
15 (水)	
16 (木)	公式訪問 (函館 RC)
17 (金)	
18 (土)	～19日 (日) 北海道ローターアクト交流会 (千歳)
19 (日)	
20 (月)	ロータリー財団地域セミナー (東京)
21 (火)	第1回ガバナーノミニー研修セミナー (東京) 第2回ガバナーエレクト研修セミナー (東京) 第2回ガバナー会 (東京)
22 (水)	ロータリー研究会 (東京)
23 (木)	ロータリー研究会 (東京) 勤労感謝の日
24 (金)	
25 (土)	
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	
31 (金)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.8.31	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	81.41
	羽幌	3	45	45	0	2	67.41
	妹背牛	4	7	7	0	0	71.42
	留萌	3	34	35	1	3	82.75
	小計		116	120	4	7	75.75
2	赤平	4	29	29	0	1	67.65
	芦別	2	32	32	0	2	74.14
	砂川	4	41	41	0	1	92.90
	滝川	5	87	94	7	4	75.00
	小計		189	196	7	8	77.42
	3	美唄	4	29	28	-1	0
江別		4	32	34	2	1	75.74
江別西		4	29	30	1	4	87.50
岩見沢		4	75	78	3	0	93.93
岩見沢東		3	19	19	0	2	85.08
栗沢		3	19	19	0	1	83.00
栗山		4	26	26	0	4	93.00
当別		4	27	27	0	0	91.31
小計			256	261	5	12	86.17
4	札幌	3	117	123	6	1	97.71
	札幌はまなす	3	21	21	0	3	79.37
	札幌北	2	42	42	0	4	90.06
	札幌モーニング	3	34	35	1	0	78.35
	札幌西	4	48	50	2	9	77.03
	札幌西北	4	34	34	0	3	84.20
	札幌手稲	3	39	39	0	4	82.61
	小計		335	344	9	24	84.19
5	札幌東	4	132	133	1	0	94.86
	札幌清田	3	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	3	66	66	0	9	100.00
	札幌真駒内	4	23	24	1	5	100.00
	札幌南	3	85	89	4	1	97.07
	札幌大通公園	2	13	15	2	4	67.00
	新札幌	4	24	24	0	3	80.62
	小計		356	364	8	26	91.36
6	岩内	3	21	21	0	1	82.54
	倶知安	3	40	40	0	4	75.00
	小樽	4	73	76	3	4	79.32
	小樽南	3	67	66	-1	2	80.59
	小樽銭函	4	19	20	1	1	80.00
	蘭越	4	10	10	0	0	87.50
	余市	4	45	45	0	6	81.40
	小計		275	278	3	18	80.91

8月出席率・
会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,629人(157人)
増加会員数	78人
当月平均出席率	81.18%

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.8.31	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	80.47
	千歳セントラル	4	43	43	0	7	76.74
	恵庭	4	48	51	3	3	76.57
	北広島	3	20	20	0	1	85.19
	長沼	2	17	17	0	3	88.23
	由仁	2	7	7	0	0	64.29
小計		198	208	10	21	78.58	
8	えりも	2	16	17	1	1	87.50
	三石	2	12	12	0	0	65.00
	様似	3	18	18	0	1	80.56
	静内	4	69	69	0	4	82.00
	浦河	3	26	27	1	2	83.95
	小計		141	143	2	8	79.80
9	伊達	3	60	64	4	1	78.93
	室蘭	4	33	36	3	1	80.35
	室蘭東	4	31	34	3	0	73.50
	室蘭北	4	42	47	5	3	75.53
	登別	4	28	28	0	1	82.14
	洞爺湖	2	10	10	0	0	70.00
小計		204	219	15	6	76.74	
10	函館	5	76	83	7	0	74.86
	函館亀田	3	40	41	1	4	81.67
	森	3	36	36	0	0	74.00
	七飯	4	12	12	0	0	79.00
	長万部	2	8	10	2	0	70.00
	函館セントラル	4	22	22	0	2	71.59
小計		194	204	10	6	75.19	
11	江差	2	11	11	0	1	68.18
	函館五稜郭	3	55	58	3	0	80.24
	函館東	4	45	44	-1	7	71.51
	函館北	3	20	20	0	0	89.56
	北斗	4	13	13	0	0	67.30
	小計		144	146	2	8	75.36
12	白老	3	29	29	0	3	78.00
	苫小牧	3	55	58	3	3	80.40
	苫小牧東	4	29	29	0	5	89.66
	苫小牧北	4	30	30	0	2	97.22
	小計		143	146	3	13	86.32
合計		2,551	2,629	78	157	81.18	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員5名)を含む

文庫通信

(360号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| ◎「職業奉仕とロータリーの魅力」 | 大迫 三郎 |
| | D.2730 2016 30p |
| ◎「ロータリーの根幹は『ロータリーの目的』が規定する職業奉仕である」 | |
| | D.2760 2017 90p |
| ◎「ロータリーって何だろうークラブ奉仕を中心に」 | 松山 R.C. |
| | 2012 73p |
| ◎「新会員推薦の手引き」 | 大阪 R.C. |
| | 2013 9・23p |
| ◎「ロータリーのしおり」 | 明石西 R.C. |
| | 2014 22p |
| ◎「シェルドンなきロータリー」 | 田中 毅 |
| (シェルドンの森を巡る旅) | 源流の会 2017 6p |
| ◎「ロータリーの正義(Ⅲ)」 | 田淵水作夫 |
| | 2017 55p |

(上記申込先: ロータリー文庫)

- | | |
|------------------------|--------------|
| ◎「ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ」 | ロータリー米山記念奨学会 |
| | 2017 127p |

(申込先: ロータリー米山記念奨学会 TEL(03)3434-8681)

- | | |
|-------------------------|------------|
| ◎「ロータリー情報ハンドブック(改訂第2版)」 | ロータリー情報研究会 |
| | 2017 821p |

(申込先: ロータリー情報研究会 FAX(050)3730-5737)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

表紙写真提供/写真提供/函館市公式観光情報サイト「はこぶら」

Rotary
District 2510

